



# いきものみつけ

News.  
Vol.28

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会

編集：事務局 竜王

住所：甲賀市土山町黒川

電話：090-7966-2262

FAX：0748-68-0598

E-mail: [ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp](mailto:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp)

平成 年 月 日発行

五月十四日。快晴の空の下で2017年いきものみつけ寺子屋がスタートしました。

甲賀市内の小学生を中心とした十七組の親子たちが土山町山内集落に集まりました。リピータが半数、初めての参加者が半数でした。

開講式では、「自分が毎日食べているご飯」の話からそのお米はどうやってできているのか？を聞かれまじめに考えてくれている子どもたち。ご飯一杯のお茶碗には、320の粒のお米があり、秋の田んぼでは二株が分がご飯一杯であることを聞きましました。

いきもの観察と言えば、黒川の田んぼ。リピーターの子もたちは、生き物がいる場所をよく知っていて、お友達に教えてくれています。

限られた時間で生きものを探すことに夢中で、「気持ち悪い」なんて言っている親たちに、捕まえた生きものを誇らしげに見せています。

## いきものみつけ寺子屋スタート 初夏の田んぼで いきもの観察・田植え



シマドジョウ

コオイムシ



アカハライモリ

### めざしたい子どもの姿

どれだけ知っているか？  
興味関心・知識

学んだことをどう生かすか？  
主体的学習

身につけたことをどう社会につなげるか？  
表現力・対話力

マイスタディ

アクティブ  
ラーニング

コミュニ  
ケーション

今年の寺子屋はどんな感じかな？リピーターたちは、期待を来てきてくれたことでしょうか。今までも、いきものみつけ寺子屋が大切にしてきたことは、体験だけで終わりではなく、子どもたちの中で、興味を持ち、学びを自分のものにして、それを相手にどうつなげていくか？

いきものみつけ寺子屋は学校では行つことのできない小さな体験、発見、を子どもたちが楽しみなが行い、子どもたちの成長を親も認められる場になりたいと考えています。

本日メインの田植えです。

猪鼻のファームに移動し現地へ。今年はおナーの指導者は、地域の岸さん夫婦。林さんにより、すでに田植え機で植えられた苗が8セの田んぼに広がり、私たちがように少しだけ残して下さっていました。

2、3本の苗を植えて行くのですが、泥の田んぼに入ったのが初めての子どもたちもいて、植えるどころではない、抱きかかえられても、足を突っ込むのが嫌な子たちもいました。が、三十分後には、すっかり泥にも慣れてる姿に、びっくり。

多いところや少ないところ、密なところもあり、出来栄は？？だったのですが、なんとか終わることができました。



## スリル満点 板橋体験

「泥だらけの体や足をこのまま車に乗って帰るわけにはいかないな」との声から、急ぎよ洗い場を地域の方に見つけてもらいました。

猪鼻に山中から流れる小さな川です。「その川に降りる道を使うには板橋を使うしかない！」(落ちたらどうすんの?)

をよそに、子どもたちはスイスイ渡り、川までたどり着くことができました。

いやあ、落ちなくて良かった(ホッ)

後で聞くと渡ったお母さんは、「落ちるより、(自分の体重で)板が割れたらどうしよう・・・」の心配も合ったらしいでした。はい、私もそう思っていたでしょう。ちなみにこのあたりは昭和の初期にはまだ立派な橋はなかったので、板橋を使って川岸に渡り、洗濯や野菜洗いなどをしていたようです。

さてさて、まだ終わりません。この日は暑かったということもあり、また冷たい川の水でひと遊び。連休明けの楽しい一日となったでしょう。



けっこうな高さでした!

### 〇〇次回予告〇〇

芋の苗植え

&いきもの観察会

日時：六月十一日(日)

十三時半

集合場所：山内六友館

持ち物：いしよくごて

網・バケツ

参加費：子ども300円

保護者は不要

申し込み：六月八日まで

メールかFAX

★みなくち子ども森の

生き物学芸員・河瀬さんが

ゲストティーチャーです。

河瀬さんイ千押し黒川の

田んぼでいきもの探しを楽しみましょう。

